

みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱい森

能ヶ谷西緑地だより

2024年12月1日号 296号 能ヶ谷西緑地・樹の会

【12月の予定】

- ◆12月14日（土）（雨天翌日）
・小田急住宅下の草刈り
- ◆12月28日（土）（雨天翌日）
・中央広場側溝整備
・納会
* 9:00 現地集合（9:00～11:30）
- ◆12月7日（土）（10:00～12:00）
・ヤママユ連・手作りカフェー
平和台集会所
問合せ：伊藤（735-8623）
どなたでも参加自由です。
作業には汚れても良い服装でおいでください。



！恒例 輪飾り作り！

日時：12月22日（日） 10:00～12:00（雨天中止）
日曜日です、お間違いなく！
場所：能ヶ谷西緑地 中央広場
参加費：200円
持ち物：はさみ



地産の藁でお正月を祝いましょう！
初心者歓迎、お気軽にどうぞ
（直接会場にお越しください）

※※※※※※※※ 緑地だより ※※※※※※※※

11月9日（土） 晴 参加者11名

今日の主な作業は、梅の剪定でした。風もなく日当たりのよい南斜面での作業でした。梅の徒長枝は、春に花と実の両方楽しめるようにと少し残して枝を切ります。やや低めにしましょうということで、左右上下に広がった枝をどのように切ろうか迷います。脚立に上って背の高い枝を切り落とし、たまった細い枝は脇にかかえて数カ所にまとめます。斜面もきつく感じるようになりましたが、皆さん頑張って足元に気をつけながら運びます。斜面で休憩中、すぐそばにサネカズラが生えていました。緑の葉の間に赤いルビー色の実がかわいく見えます。枝をひっくり返すと、オオカマキリの卵が2個もついているのを発見！「今年の雪はあまり降らないでしょう」とUさんが占います。あたるでしょうか…？ほかにクサギの低木もあります。うすいピンク色のガクがこれからどう変わっていくのでしょうか。西緑地の小さな生き物は、病み上がりの我が身にとって、自然の息吹を感じさせてくれて、励ましてくれます。最後に、11月と12月に行なう鶴川2小の

輪飾り作りの段取りや西緑地での輪飾り作りの日程など、Sさんも交え相談しました。

（森田）

11月23日（土） 晴 参加者10名

心配していた雨も上がり、とても良いお天気に恵まれました。

今日の作業は 公園南側の 梅の剪定でした。最初のうちは、しょぼしょぼと恐る恐る切っていたのですが、Kさん、Iさんの指導のもと、かなり思い切って剪定していきましました。ちょっと心配になるぐらい切っていたのですが、後で見ると、スッキリ、サッパリとして見えます。大成功でした。

後に、斜面の草刈りや花広場の草刈りなどの整備を行いました。作業の後、輪飾り作り等の相談をして、お茶会に。

お茶タイムには、どんぐりクッキー、収穫したさつまいもの月餅、焼き芋などでとても楽しむことができました。

（長谷部）



梅の剪定中

【緑地の樹】

ツルグミ

ツルグミが、公園から緑地に入ったところにある。高さ2～3mで枝は長く伸び赤褐色の鱗片があり、葉は互生し裏面に赤褐色の鱗片が密生する。まれに銀白色のものもある。小枝を下向きに出し、それにより他の木に寄り掛かる。幹が太く高くなると10～11月に淡褐色の小さな花が数個垂れ下がって咲く。

また枝の変形したとげをつける。5月ごろ赤い実がなるそうだが、緑地のツルグミでまだ実がなっているのを見ていない。白い小さな花からどんな実ができるのか、来年の春にはチェックしなくては。

(宇野、小川)

プロフィール:グミ科グミ属 つる性常緑低木



葉の表は緑だが、葉裏は茶褐色



グミの花、開花中

【緑地に実る】ゴズイ (権萃)



ミツバウツギ科ゴズイ属の落葉小高木。関東以西から南西諸島に分布し、里山から山地の雑木林などに自生しています。

和名の由来は、魚のゴズイ同様「役に立たない」という説や、権現杖が訛ったものという説等があるとも言われています。

秋に実る果実が真っ赤でよく目立ち、熟すと避けて中から黒い種子を出します。(長谷部)

緑地の秋



ガマズミ



ゴズイ

◆ 緑地内は自然緑地として保全をしています。
怪我しないよう十分に気をつけて楽しみましょう。

◆ ご意見がありましたら nishiryokuchi@gmail.com まで
「緑地だより」編集：小川

「能ヶ谷西緑地・樹の会」のHP (毎月末に更新)

<http://home.a03.itscom.net/ryokuchi/>

配信希望の方は、nishiryokuchi@gmail.com まで

【緑地を楽しむ本】

『動物たちは何をしゃべっているのか?』

山極壽一/著 鈴木俊貴/著

集英社



葉が落ちた庭の木に、鳥たちがやってきます。ジージー、ピ、ピと賑やかに枝をつついたと思うと、慌ただしくお隣りの庭へ移って行ってしまいました。楽しそうに、何を

しゃべっているのかしら？

そんな鳥の中でも、私たちにおなじみのシジュウカラは鳴き声に意味があり、なんと単語や文法もあるということを解明したのが今回の著者の一人、鈴木俊貴さんです。言葉がわかるということは、シジュウカラの考えや

性格もわかるのですね。時々嘘をつくのだから。ちょっと微笑ましく感じます。

そして他方はゴリラ世界に身を投じてゴリラの生き方をじっくり学んできた山極壽一さん。お二人の対談が面白くないわけがありません。

鳥もゴリラも、お互いに直接コミュニケーションをとります。ヒトも長い間そうでした。ただ、文字が発明され、今ではインターネットやSNSが出てきて人と人の直接のふれあいが少なくなってきたしまった・・・私たちはもっと動物たちの生き方から学ぶ必要がありそうです。

(小川)

【やまゆ連・手作りカフェー】

PPバンドでカゴ作り

11月2日(土) 10:00~12:00 平和台集会所

秋の訪れが遅々としていた11月初めの一日、今回はカゴ作りに挑戦しました。本格的なクラフトテープを使う前に練習用にPPバンドで基礎を習いました。

最初に底部分から編み始め、作りたいサイズになったら、セロテープで底面四方を固定します。

そこから側面を編み上げていくのですが、立ち上げ部分で四苦八苦です。指導者に手取り足取り教えて頂きながら、何とか底面15センチ弱四方、高さ20センチの籠が出来上がりました。

完成品のサイズから割り出し、素材テープを数種類の長さにカットし揃える作業も複雑そうです。今回の事前準備は全て指導者の方にさせて頂きました。

素材から形ある物を創り上げるのは何と嬉しいことでしょう。

人生初の手作りカゴが愛おしく、完成品を身近に置き、眺め暮しています。

カフェメニュー：スウィートポテト

(藤井)



完成!

